

フードバンク狛江 ニュースレター



発行: NPO 法人フードバンク狛江 TEL/FAX 03-5497-0272 MAIL : info@fb-komae.org

食を通じた地域のつながりを広げるために 2年ぶりに団体交流会を開催！

10月18日(金)「フードバンク活動でつながる地域の団体交流会」を狛江市と共催し、市の関係部署を含む25団体40名が参加しました。寄付をする側と寄付を受ける側が、直接顔を合わせて互いを知ることが目的としました。



後半には狛江市在住のひとり親さんが登壇し、インタビュー形式で当団体や“こま YELL”の支援を受けながら4つの仕事を掛け持ち、5時間ほどの睡眠時間で子育てをしているというお話を伺い、出席者から「この方の話を聞いてよかった。」「とても印象に残った。」という感想を多く聞きました。短い時間でしたが、「食の分かち合い」で地域の様々な活動を知ってもらい、つながることの意味を確認し合うことができました。

給食のない冬休み、子育て応援で食品をお届けます！



物価高が続く中、食べ盛りの子もいる世帯にとって、給食のない冬休みの食費は大きな負担です。親子で楽しいクリスマスやお正月を過ごせることを願い、低所得で子育てする世帯で希望する方に、今年も食品をお届けます。皆さまからの食品寄贈や配送費の寄付などご支援ご協力をお願いいたします。

*対象世帯は、フードバンク狛江の夏休み子育て応援に申込まれた世帯と12月中旬に狛江市より発送される「ひとり親等医療証」を受取られた方。

政府備蓄米を活用してお米の提供復活へ

9月の「おすそ分けお渡し会」は、お米の寄贈が激減していたためお米を提供できず、乾麺やレンチンごはんなどを提供しました。この度「こども宅食」団体として農水省学校給食用等政府備蓄米を申請し、無事に無洗米450キロが交付されたため、11月の「おすそ分けお渡し会」は、子ども一人につき3キロのお米を提供できることになりました。今後も行政が提供する制度もフル活用し、子育て世帯を応援します。引き続き、皆様のご支援もお願いいたします。



【活動報告】

9月

- 9日 東都生協調布センターでフードドライブ品受取
- 17日 子育て応援おすそ分けお渡し会1日目
- 19日 子育て応援おすそ分けお渡し会2日目

10月

- 8日 こまEメール学習支援お菓子セット提供
- 11日 福祉相談課と団体交流会打合せ
- 13日 上和泉地域センターまつりでパネル展示
- 17日 (株)東都のフードドライブ品受取り
- 18日 フードバンク活動で繋がる団体交流会開催
- 21~23日 市役所ロビーくらしフェスタでパネル展示
- 27日 三田国際学園国際フードドライブ品受取り
- 31日 子ども若者政策課学習支援お菓子提供

11月

- 1日 広報こまえ11月1日号に食品寄贈の記事掲載
- 5日 環境省省内フードドライブ品受取り
- 15日 コマラジ出演
- 17日 市民まつりで商工会青年部フードドライブ
- 21日 冬休み子育て応援申込案内送信
- 23日 お米のおすそ分けお渡し会1日目
- 25日 お米のおすそ分けお渡し会2日目

【今後の予定】

12月

- 4日 冬休み子育て応援第1次申込締切り
- 12日 子育て応援食品お渡し会1日目
- 14日 子育て応援食品お渡し会2日目
- 15日 社会福祉協議会法人化50周年で表彰される
- 22日 ひとり親等医療証申込締め切り
- 23日 医療証申込分食品発送
- 25日 子ども若者政策課学習支援 Xmas セット提供
- 26日 仕事納め 大掃除

2025年1月

- 6日 仕事始め



10月は食品ロス削減月間！ パネル展示で食品ロス削減を呼びかけました

食品ロスの現状やフードバンクの活動を知っていただくため、パネル展示を行いました。

まだ食べられるのに廃棄されている「食品ロス」について、日本では2022年に政府目標の489万tを8年前倒しで達成し472万tとしました。ただ、事業者による貢献がほとんどで、家庭から捨てられる量はあまり減っていません。家庭内の食べ残しや未開封食品の廃棄をいかに減らすかが課題です。

- 10/13 上和泉地域センターまつり
- 10/21-23 狛江市消費生活展(市役所)



企業・団体でフードドライブの取組みが広がっています！

フードドライブに取組まれた皆さま、ありがとうございました！（敬称略）

◇ 東都生活協同組合



8月19日から2週間、宅配時に寄贈食品をお預かりするフードドライブを実施され、狛江市・品川区・大田区の組合員の皆さまから234kgの食品を頂きました。年2回実施し、今回14回目です！

◇ 商工会青年部



9月7～8日 狛江フェスタでフードドライブを実施され、14.1 kgの食品を寄贈して頂きました。11月17日 狛江市民まつりでもフードドライブを実施します。毎年取り組んで頂き、今年3年目を迎えました。

◇ リ口の不動産 株式会社東都



9月25日から2週間、社内で初のフードドライブを実施され、9.4 kgの食品を寄贈して頂きました。今後も年間を通じてフードドライブを呼びかけたいと大変心強い提案を頂きました。

◇ 三田国際学園



ボランティアで参加していた生徒たちが大学受験で、引き継いだ下級生が秋の学園祭でフードドライブに取組み、27kgの食品を寄贈して頂きました。

◇ 環境省



環境省の進めるデコ活(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)を盛り上げる取組みで、10月21日から2週間、省内職員に向けフードドライブを実施し、25.6 kgの食品を届けて頂きました。

★フードドライブを実施して下さる学校・事業者・団体を随時募集しています！

～ちよこっと賛助団体紹介～

【野川のえんがわ comarch(こまち)】

「狛江を(coma)つなぎ(arch)、誰もが共に(co)歩む(march)ことのできるまちづくり」をミッションに、2020年から活動する任意団体です。

築50年の一軒家を誰でもふらりと立ち寄れる場として地域にひらいた「野川のえんがわ こまち」、自宅でのちょっとした困り事に対応する住民主体の訪問型サービス「こまちア」に取り組んでいます。フードバンク狛江さんとも連携した「食」にかかわる取り組みとしては、毎週水曜日に多世代の会食、毎月第3月曜日に近隣の飲食店と共催でこども食堂を開いています。



🎤 コマラジで食品寄贈を呼びかけました

11月15日(金)10時「KOMAE AM フライデーアートサーカス」の狛江・生活情報のコーナーに出演し、市民の皆さまに食品寄贈や寄付を呼びかけました。(狛江 FM 85.7MHz)



2024年9月～2024年11月

寄付・食品寄贈でご支援いただいた皆様、本当にありがとうございました！

■食品の寄贈(敬称略)：まいばすけっと久地駅北店/マックスバリュ厚木下荻野店/マックスバリュ小田原荻窪店/マックスバリュ開成駅前店/マックスバリュ開成店/コープみらい/コープ調布染地店/コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)/狛江市安心安全課/狛江市商工会青年部/ダイエー三軒茶屋/ダイエー幡ヶ谷/正受院/天理教江東分教会/東都生協/中山法律事務所/ファミリーマート狛江東和泉店/ファミリーマート東野川二丁目店/フーディアム下北沢/フードバンク三鷹/フードバンクむさしの/三田国際学園 Irenic フードドライブ/三菱商事ロジスティクス(株)/華厳院 おてらおやつクラブ(株)東都(株)トラスト・ワン/御台橋商栄会/3色パステルアート/パルスシステム 狛江センター/三田会/明治ホールディングス(株)/株トラスト・ウィン/東京すずらん会/和泉小学校フードドライブ/日産証券(株)/日本証券業協会【こどもサポート証券ネット】を通して数社/市民の皆様のべ 165名、Amazon 欲しいものリストから寄贈品 約 40 kg。

■お金の寄付：大橋晃太、天理教江東分教会、延べ 58名の皆様より総額約 42万円の寄付を頂戴しました。

理事長コラム

食品ロス削減推進法にフードバンク活動への支援が盛り込まれ日本でも農水省調べで、すでに 272 団体

も立ち上がっている。このところ消費者庁も含め、国では企業の食品寄付の推進や管理ガイドラインなど官民協議会も立ち上げて、フードバンク活動への期待から議論が活発化している。まだ日本のフードバンクの歴史は浅いが、孤独・孤立を防ぐ福祉的観点も重視し、また狛江のような地域型の小さなフードバンクは、CO²削減の観点からも環境にやさしく「顔の見える、息遣いが聞こえる」支援ができる。

ぜひ地域型フードバンク活動への支援も国や行政に期待するところです。



不用品が寄付になります！

ブックオフの買取寄付サービス「キモチと。」

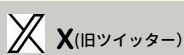
まもなく年末の大掃除シーズンです。お手元にある不要な本やブランド服など専用フォームから申し込みいただくと、ブックオフ指定の配送業者が送料無料で集荷に伺います。お送りいただいた不要品はブックオフで査定し全額が当団体に寄付されます。



NPO 法人 フードバンク狛江

〒201-0001 狛江市西野川 1-16-7

開所日：毎週月曜・木曜 13時～17時



@foodbankkomae



フードバンク狛江で検索



ほしいものリスト
amazon

